
CommonMP Ver1.5 インストール手順書

目 次

1. 概要.....	1-1
1.1 目的	1-1
2. 必要動作環境	2-1
2.1 ハードウェア構成.....	2-1
2.2 ソフトウェア構成.....	2-1
3. CommonMP のインストール手順.....	3-1
3.1 利用フロー	3-1
3.2 プログラムのインストールとアンインストール.....	3-2
3.2.1 プログラムのインストール.....	3-2
3.2.2 プログラムのアンインストール.....	3-2
4. CommonMP+GIS エンジンのインストール手順.....	4-1
4.1 利用フロー	4-1
4.2 プログラムのインストールとアンインストール.....	4-2
4.2.1 プログラムのインストール.....	4-2
4.2.2 GIS 用地図データのインストール	4-3
4.2.3 GIS エンジンの初期設定	4-5
4.2.4 プログラムのアンインストール.....	4-9
4.2.5 CommonMP-GIS ユーザ設定ファイル格納フォルダの手動削除.....	4-10
4.2.6 GIS 用地図データのアンインストール	4-10

1. 概要

1.1 目的

本マニュアルは、CommonMP Ver1.5 のインストール方法について記載することを目的とします。

CommonMP Ver1.5 単体をインストールする場合は、3. CommonMP のインストール手順へ、CommonMP Ver1.5 +GIS エンジンインストールする場合は、4. CommonMP+GIS エンジンのインストール手順へお進みください。

※各種マニュアル類は CommonMP 一式の圧縮ファイルを解凍後、展開される「ドキュメント」フォルダを閲覧ください。

2. 必要動作環境

2.1 ハードウェア構成

動作環境の基準として、ハードウェア構成を表 2.1 に記述します。但し、適用システム毎にハードウェア構成は異なるため、ハードウェアは適用システム側で用意するものとします。

表 2.1 ハードウェア構成

項番	構成品	品名
1	プロセッサ	Intel Core™ i7-3770 CPU 3.40GHz(推奨)
2	メモリ(RAM)	8.0GB(推奨)
3	HDD	400GB(推奨)
4	CD または DVD ドライブ	CD または DVD ドライブ
5	ディスプレイ	1,024×768 の解像度(最小) 1,280×1,024 の解像度 TrueColor(1,677 万色) (推奨)
6	マウス	ホイール付き 2 ボタンマウス
7	グラフィックスボード	OpenGL 対応ボードの搭載が必須

2.2 ソフトウェア構成

動作環境の基準として、ソフトウェア構成を表 2.2 に記述します。但し、適用システム毎にソフトウェア構成は異なるため、ソフトウェアは適用システム側で用意するものとします。

表 2.2 ソフトウェア構成

項番	構成品	品名
1	Operating System(OS)	Microsoft Windows 7 Pro (32bit) Microsoft Windows 7 Pro (64bit) Microsoft Windows 8.1 Pro (64bit)
2	.NET Framework	Microsoft .NET Framework 4.5
3	Web ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 9.0 以上(推奨)
4	PDF ブラウザ	Adobe Reader XI 以上(推奨)
5	OpenGL	OpenGL 1.2 以上
6	DotNetZip	DotNetZip Library1.9 以上 ※1

※1 : DotNetZip Library の利用条件

DotNetZip Library は、Microsoft Public License (Ms-PL) に基づき配布されています。本ソフトウェアのライセンスについては、以下のウェブページをご確認ください。

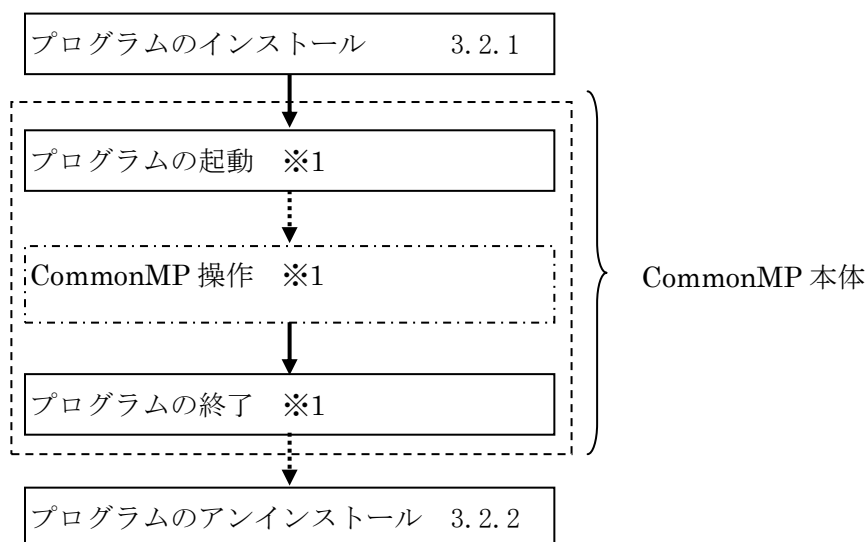
・ <http://dotnetzip.codeplex.com/license>

3. CommonMP のインストール手順

本章では、CommonMP のインストール手順について示します。
Ver1.5 には、64 ビット用と 32 ビット用のインストーラがあります。
ご使用の端末環境に合わせて利用してください。

3.1 利用フロー

CommonMP の利用フローを図 3.1 に示します。
利用項目に添えられている数字は説明されている節、項を指します。



※1：詳細は操作手順書を参照してください。

図 3.1 CommonMP の利用フロー

「プログラムのインストール」は、はじめて「CommonMP」を使用する時に実施し、「プログラムのアンインストール」は、「CommonMP」を使用しなくなった時に実施します。

3.2 プログラムのインストールとアンインストール

3.2.1 プログラムのインストール

はじめて利用する時は、以下の手順に従い、プログラムをインストールして頂く必要があります。

(1) CommonMP 本体のインストール

CommonMP インストールパッケージ (CommonMPPackage.exe) をインストールフォルダに配置し、ダブルクリックすると、CommonMPPackage フォルダ下に以下のファイルが展開されます。

- ① CommonMPSetProc.exe : インストーラ
- ② CommonMP.exe : CommonMP 本体

インストーラ (CommonMPSetProc.exe) をダブルクリックすると、CommonMP 本体がインストールフォルダに展開されます。

(2) CommonMP ドキュメントのインストール

ドキュメントファイル (CommonMPHelp.exe) をインストールフォルダに配置して、ダブルクリックします。

3.2.2 プログラムのアンインストール

プログラムをお使いのコンピュータから削除したい場合は、インストール先のフォルダを削除してください。データを残したい場合は、CommonMP フォルダ下の CommonMPData フォルダ以外を削除してください。

デスクトップにショートカットが作成されていますので、ショートカットを削除してください。

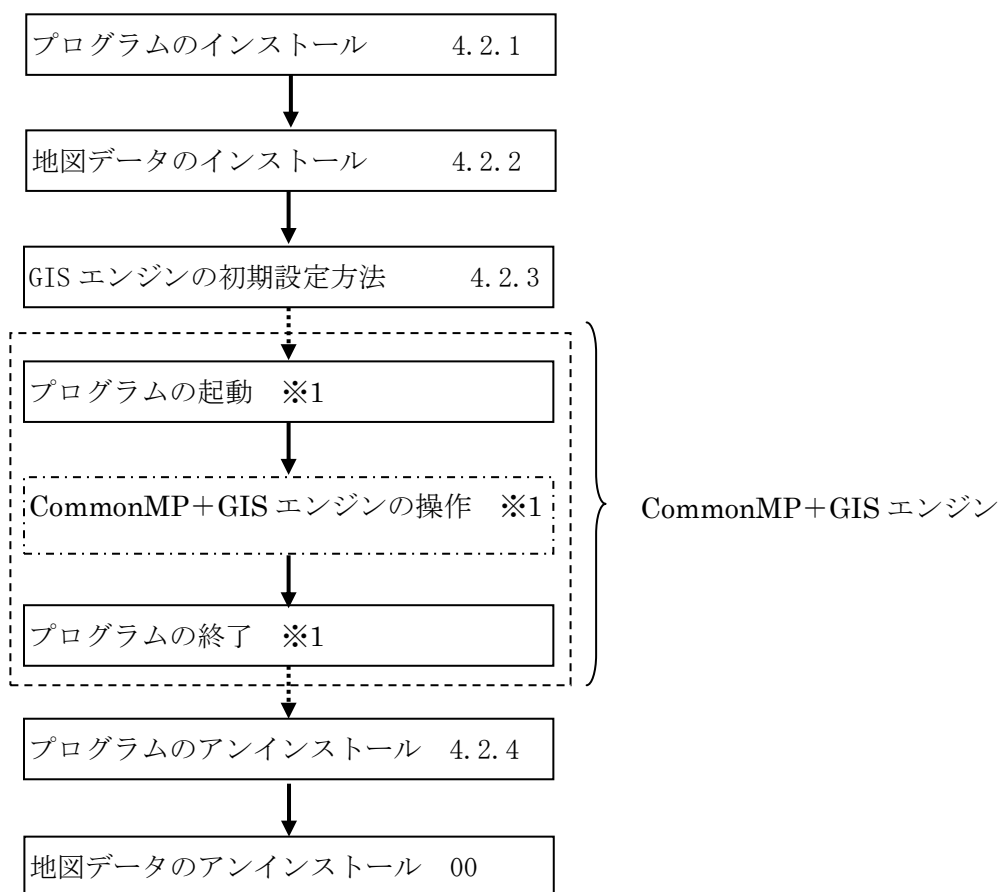
4. CommonMP+GIS エンジンのインストール手順

本章では、CommonMP のインストール手順について示します。

4.1 利用フロー

CommonMP+GIS エンジンの利用フローを図 4.1 に示します。

利用項目に添えられている数字は説明されている節、項を指します。



※1：詳細は操作手順書を参照してください。

図 4.1 CommonMP+GIS エンジンの利用フロー

「プログラムのインストール」は、はじめて「CommonMP」を使用する時に実施し、「プログラムのアンインストール」は、「CommonMP」を使用しなくなった時に実施します。

4.2 プログラムのインストールとアンインストール

4.2.1 プログラムのインストール

はじめて利用する時は、以下の手順に従い、プログラムをインストールして頂く必要があります。

(1) CommonMP 本体のインストール

CommonMP インストールパッケージ (CommonMPPackage.exe) をインストールフォルダに配置し、ダブルクリックすると、CommonMPPackage フォルダ下に以下のファイルが展開されます。

- ① CommonMPSetProc.exe : インストーラ
- ② CommonMP.exe : CommonMP 本体 (GIS 含む)

インストーラ (CommonMPSetProc.exe) をダブルクリックすると、CommonMP 本体および GIS がインストールフォルダに展開されます。

(2) CommonMP ドキュメントのインストール

ドキュメントファイル (CommonMPHelp.exe) をインストールフォルダに配置して、ダブルクリックします。

4.2.2 GIS 用地図データのインストール

ここでは、CommonMP+GIS エンジンが利用する地図データのインストールについて説明します。地図データのインストール方法はインターネット接続環境や、過去に旧バージョンの CommonMP+GIS エンジンを利用している等により、手順が異なります。

以下の図を参照して、該当する項番号の手順で地図データのインストールを行ってください。

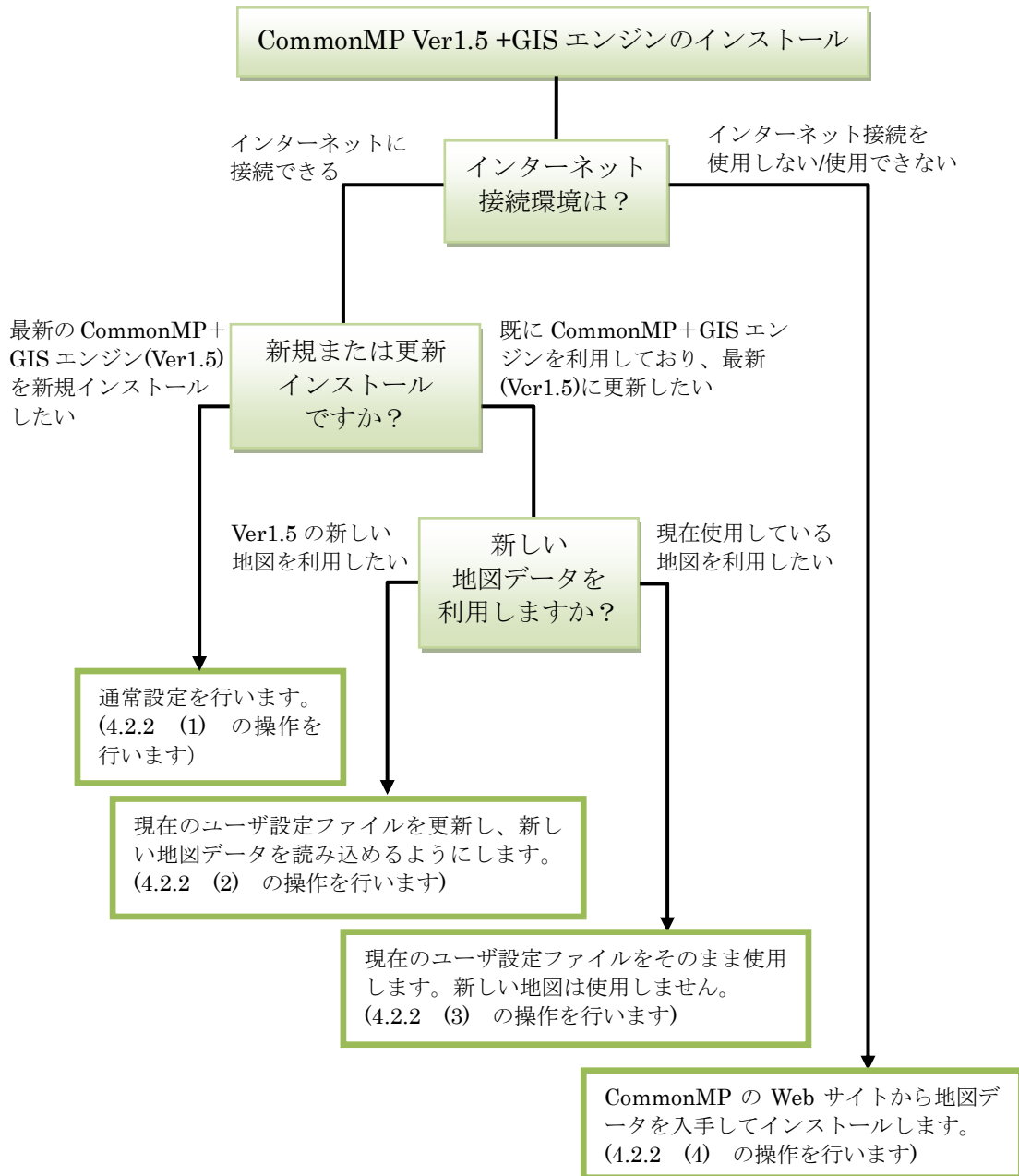


図 4.2 使用環境毎の GIS 用地図データのインストール方法

(1) はじめて地図データの設定を行う場合（通常設定）

プログラムのインストール(4.2.1)を行うと、自動で地図データがインストールされます。そのため、別途にインストール操作を行う必要はありません。

インストールされた地図データは、インストールフォルダ内に「data」という名前で作成されています。この「data」のフォルダパスは後のデータフォルダの設定(4.2.3 (3))の操作で利用しますので、メモ等で記録してください。

(2) 既存の地図に電子国土を追加する場合

自動でインストールされた「data」フォルダの「cyberjapan」フォルダを、既存の地図データ格納先にコピーしてください。

次に、既存の地図データ格納先の「dataset.ini」ファイルの[dataset]セクションに以下の2行を追加してください。

<「dataset.ini」ファイルの[dataset]セクションに追加する内容>

cyberjapan/cyberjapanDJBMM.ini

cyberjapan/cyberjapanDJBMO.ini

(3) 既存の地図データをそのまま利用したい場合

現在作成されている設定情報が自動でそのまま引き継がれるため、特に操作は必要ありません。この際、以後の手順で行うデータフォルダの設定(4.2.3 (3))の画面が表示されなくなりますが、インストール操作に問題はありません。

(4) 地図データをダウンロードして使用する場合

地図データを CommonMP の Web サイトから入手して、インストールを行います。

1) インストールするデータ

GIS エンジンで使用する地図データは、以下のようなファイル構成になっています。

<GIS 用地図データ>

~¥data フォルダ以下

+ basemap : NASA 衛星画像および標高データ

2) 地図データをインストールするフォルダにコピーします。

GIS 用地図データをインストールするフォルダにコピーします。

提供するデータは、ZIP ファイルで圧縮された data.zip ファイルになります。コピーしてファイルをダブルクリックして任意のフォルダに解凍してください。解凍後、data.zip は削除します。コピー先の空き容量を確認の上、コピーしてください。

4.2.3 GIS エンジンの初期設定

(1) GIS インストール先の設定

- ① CommonMP 起動後、ファイルメニューから「環境定義」-「GIS 起動パス設定」を選択します(図 4.3)。



図 4.3 GIS インストール先の設定

- ② 『インストール先選択』画面が表示されます。インストールされた GIS アプリケーションを選択して、[開く]ボタンを押下してください(図 4.4)。

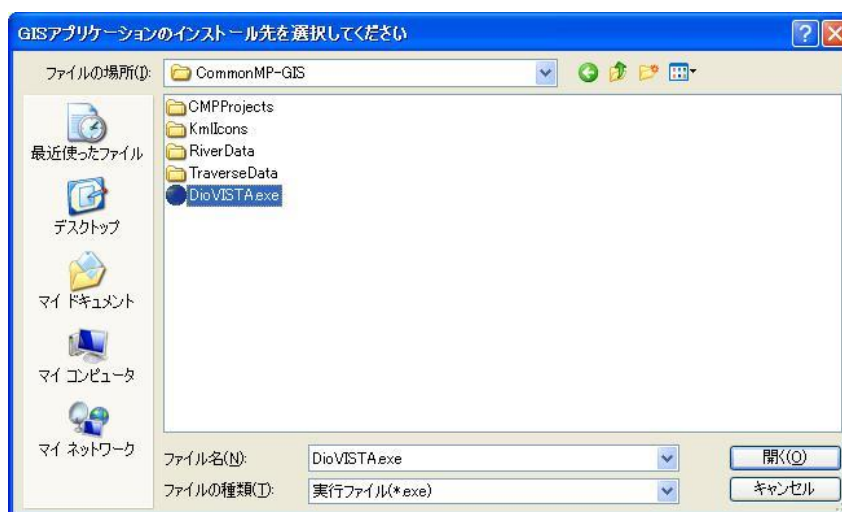


図 4.4 GIS アプリケーションの選択

- ③ CommonMP を再起動してください。GIS インストール先の設定完了です。

(2) GIS エンジンの起動

- ① ツールメニューから「GIS 表示」 - 「地図表示」を選択します(図 4.5)。



図 4.5 GIS エンジンの起動

(3) データフォルダの設定

- ① 『データフォルダ設定』画面が表示されます。[...] ボタンを押下してください。『フォルダ参照』画面が表示されます。『フォルダ参照』画面でデータのフォルダを選択し、[OK] ボタンを押下してください(図 4.6)。

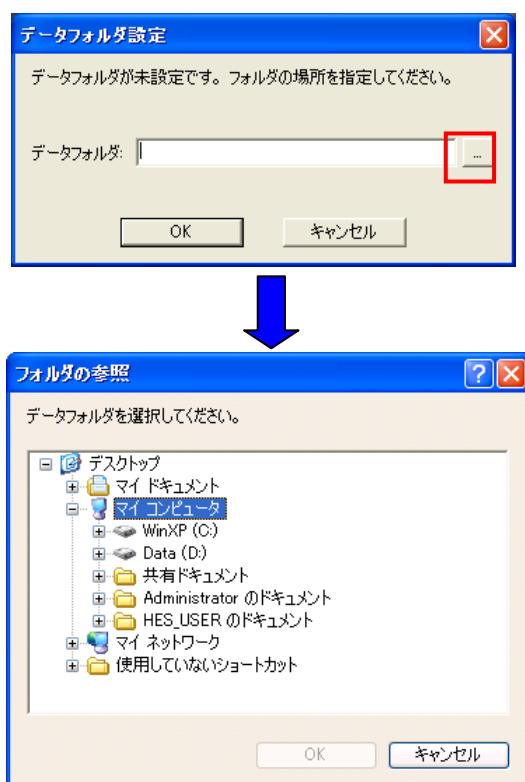


図 4.6 データフォルダの設定

-
- ② 『データフォルダ設定』画面で、データフォルダの参照先が指定されていることを確認し、[OK]ボタンを押下してください。データフォルダの参照先の設定完了です(図 4.7)。

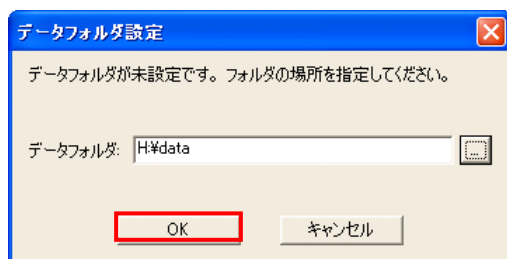


図 4.7 データフォルダの確認

※過去に CommonMP-GIS の使用実績があり、ユーザ設定ファイルが残っている場合は、データフォルダの設定は不要となります。

(4) ライセンス登録

- ① [参照]ボタンを押下してください。『ファイルを開く』画面が表示されます。『ファイルを開く』画面で配布されたXMLを選択し、[開く]ボタンを押下してください(図 4.8)。

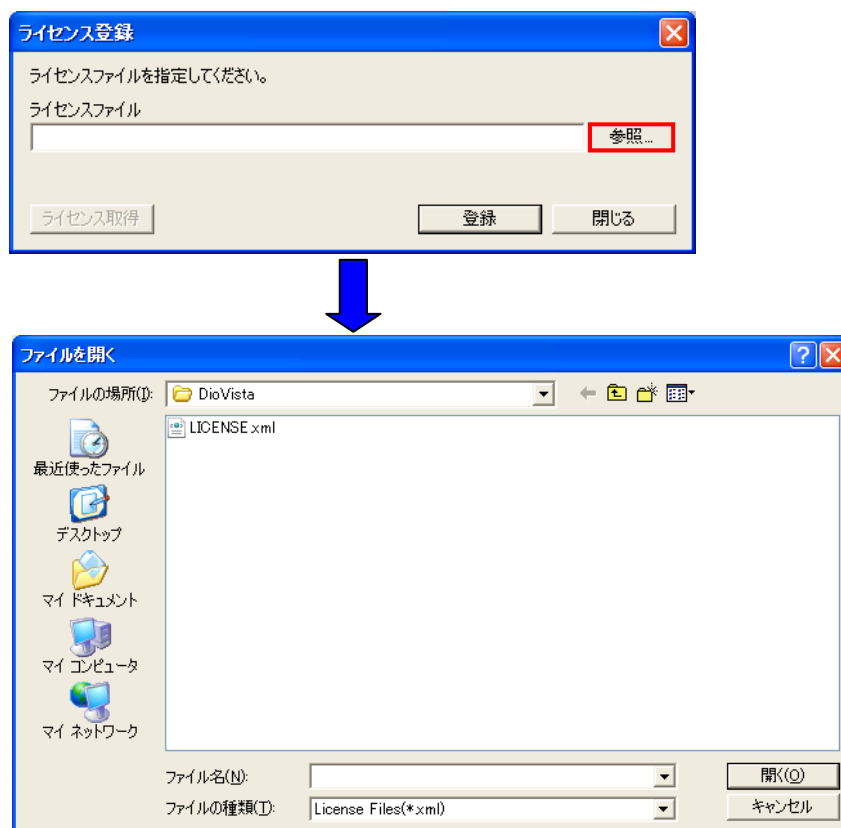


図 4.8 ライセンスファイルの設定

- ② 『ライセン登録』画面で、ライセンスファイルの参照先が指定されていることを確認し、[登録]ボタンを押下してください。ライセンスファイルの登録完了です(図 4.9)。

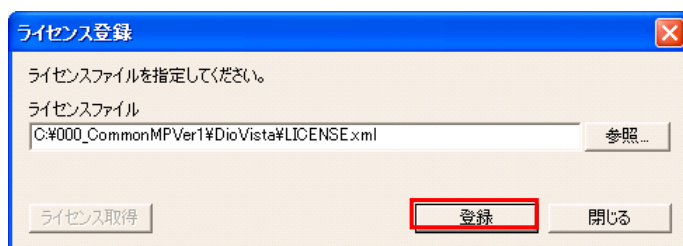


図 4.9 ライセンスファイルの参照先確認

4.2.4 プログラムのアンインストール

プログラムをお使いのコンピュータから削除したい場合は、インストール先のフォルダを削除してください。データを残したい場合は、**CommonMP** フォルダ下の **CommonMPData** フォルダ以外を削除してください。

デスクトップにショートカットが作成されていますので、ショートカットを削除してください。

4.2.5 CommonMP-GIS ユーザ設定ファイル格納フォルダの手動削除

CommonMP-GIS 使用時のユーザ設定ファイル格納フォルダを手動で削除します。手動で削除するフォルダを表 4.1 に示します。

表 4.1 手動で削除するフォルダ

項番	削除対象フォルダ
1	C:\ユーザ\<ユーザ名>\AppData\Roaming\Hitachi Engineering & Services\DioVISTA
2	C:\ユーザ\<ユーザ名>\ドキュメント\Hitachi Engineering & Services\DioVISTA

4.2.6 GIS 用地図データのアンインストール

お使いのコンピュータから削除したい場合は、インストールした場所のフォルダを削除します。